



トップニュース①

めがねのまちさばえ **SDGsフェス 2025**

15,000人が来場

学び、楽しみ、アクションへ！

9月20日・21日に今年で4回目となっためがねのまちさばえSDGsフェスが開催されました。今回のテーマは「見つけよう！あなたのアクション」。学生団体「さばえSDGs部」がまとめた行動目標「さばえアクション∞(エイト)」を広く知っていただくとともに、来場者が“行動する楽しさ”を体感できる場を目指し、ブースエリアでは全部で41の企業・団体の皆さんに出展していただきました。布や木材の端材を使ったワークショップやサステナブルな商品販売などで来場者を楽しませました。

1日目には“めがねのまちさばえ応援プロジェクトスペシャルステージ”を開催。福井文化服装学院の学生が、鯖江市内繊維産業から排出される端材を用いて、自由な発想と創造性でサステナブルアクセサリを製作。それをTGC出演の人気モデルが着用し、鯖江市在住のキッズ10人とランウェイを歩きました。

また、今年もダンスワークショップショーを実施。EXILE TETSUYAさんとTHE RAMPAGEの岩谷翔吾さんが登場し、鯖江高校ダンス同好会とコラボしました。

2日目には、全日本ジュニアクラシック音楽コンクール声楽部門で第5位に入賞した富田輝さん(鯖江市)の歌声をはじめ、



▲大盛況のダンスワークショップショー

スーパーキッズたちが迫力ある空手の演武や、力強いドラム演奏を披露しました。会場にお越しいただいた皆さま、そして素敵なブースやパフォーマンスで盛り上げてくださった出展者や出演者の皆さま、ありがとうございました！



万博でスピーチコンテスト主催！ 若者と女性が紡ぐ「幸せのカタチ」とは



大阪・関西万博で鯖江市が主催するパネルディスカッション「さばえ SDGs グローカルアクション 2025」が開催されました。

第1部ではスペシャルゲストに俳優・蒼井優さんを迎え、パネリストたちは母親としての視点から、子育ての楽しさや仕事との両立の難しさについて自身の体験を交えながら語り合いました。

第2部の、女性が支える『つくる、さばえ』では鯖江市で活躍する女性たちが登壇し、「自分らしく働く」ことの大切さについて話しました。性別にとらわれず、やりたいことを貫く姿勢が新しい道を切り開くことや、鯖江の魅力をもっと広く伝えるために発信し続けることが必要であることなど、持続可能な地域づくりへの思いが共有されました。

さばえ SDGs 推進センターでは「私たちが考える、幸せのカタチ。」



をテーマに、スピーチコンテストを開催しました。鯖江市内外の中高生ら5名が万博の大舞台で、夢を語れる自由な社会の大切さや、自分らしく生きることの幸せ、そして性別にとらわれずに過ごせる日常への願いなど、それぞれが思い描く“幸せのカタチ”を力強く語りました。

若い世代がそれぞれの視点から語る「幸せ」は、どれもまっすぐで、胸に響くものでした。一人ひとりの声が、未来の社会を少しずつ変えていく原動力になると信じています。

スピーチコンテストは YouTube で公開中！

 さばえ SDGs 推進センター @sdgs3540

その他活動報告

2025年7月～9月

にゅう 7月 丹生高写真部プレミアム写真展

7月5日（土）～25日（金）に全国大会で多数の入賞を誇る福井県立丹生高等学校（越前町）とコラボし、「私たちが未来に残したいもの」をテーマとした写真展を開催。

福井県内で高校生たちが撮影した美しい風景や友人たちとの日常の一コマなど約 120 点を展示。福井の風景が楽しめると同時に、SDGs について考えるきっかけとなっていました。



7～8月 夏休み防災教室&環境講座



昨年に引き続き気象予報士の村田光広さんを講師としてお招きし、7月26日、8月2日、8月9日に小学生の親子向けに夏休み防災教室を開催しました。

竜巻や大雨の原理を学んだほか、ハザードマップを使って自宅周辺の避難場所を確認したり、防災バッグの中身について考えたりしました。また、非常食の試食や避難所に置かれている簡易ベッドに横になってみるなど、子どもたちは非日常な体験を楽しんでいました。



▲ハザードマップで避難経路を確認



▲非常食を試食



▲避難所の雰囲気体験中

8月23日には、さばえSDGsグローバルクラブの会員でもある北陸電力丹南支店とコラボし、地球温暖化に関する実験やペットボトルでLEDランタンづくりをする環境講座を開催。参加者たちは実験に興味津々で取り組み、また、ランタンづくりではデザインを工夫しながら、世界に一つだけの作品を完成させていました。



▲実験に取り組む参加者



▲オリジナルランタンづくり

お知らせ

新センター長就任のお知らせ



さばえSDGs推進センター
センター長 乙坂 薫

2025年4月よりさばえSDGs推進センターのセンター長に就任いたしました乙坂薫です。持続可能な社会の実現に向けて、地域や企業・団体と連携し、誰一人取り残さない取り組みを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

誰でもできる！ワンポイントSDGs

ベルマーク運動

ベルマーク運動とは



学校や公民館などの施設・団体単位で参加でき、「すべての子どもたちに豊かな環境の中で教育を」と1960年から始まった支援活動です。商品についているベルマークを集めると、学校は点数に応じて備品などと交換できます。また、購入金額の10%が寄付され教育支援活動に使われます。

ベルマーク運動は協賛会社・協力会社によって成り立つ！

協賛会社

ベルマークのお金を出す会社。
集まったベルマークの点数分お金を出している。

協力会社

学校の備品や教材を販売する会社。
購入代金の10%をベルマーク財団に寄付する。

▼ここが注目

鯖江市ではNPO法人さばえNPOサポートが中心となりボランティアの方とベルマークの仕分け・集計作業を引き受けています。集計が完了したベルマークは、希望する学校などへ寄付され、鯖江の子どもたちの教育支援に役立てられています。

やってみよう！



ベルマークを集めて

近くの回収場所や参加学校へ！



仕分けのボランティアに参加する



協賛会社や協力会社になる

さばえSDGsグローバルクラブ 新規登録者

(登録順)

1. 株式会社クラッチ DREAMS COME TRUE.BASE(越前市)
2. 株式会社まいぺんらい(福岡県)
3. 株式会社 GOAL Fintech(東京都)
4. 新潟医療福祉大学(新潟県)
5. 株式会社オリエントコーポレーション 福井支店(福井市)
6. 株式会社アックスコンサルティング(東京都)
7. 株式会社 T-UP(茨城県)
8. 駒本蒔絵工房(鯖江市)
9. 株式会社グローバルアクト(神奈川県)